

社会科（地図）調査資料 1 - 1

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;"><b>新編 新しい地図帳</b></p> <p style="text-align: right;">東京書籍</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり</p>	<p>○学習指導要領の目標や内容を踏まえ、適切な資料に基づいて効果的に提示されている。地図が複数配置され、日本の位置及び範囲、領土に関する問題、自然災害と防災などについて理解できるようになっている。歴史や文化・伝統に関する内容を充実させ、国土と歴史に対する理解が深まるよう配慮した構成となっている。</p> <p>○方位、距離と縮尺、等高線、地図記号などの基本的な地図指導の内容、地球儀の活用の仕方がおさえられている。また、日本と世界の地図においては各学年の発達段階に応じて、関連する資料などととも効果的に配列されている。総合的な学習の時間や他の教科にも活用できるような構成となっている。</p>
<p>特 色</p> <p>内 容</p>	<p><b>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫〉</b></p> <p>○「地図帳の使い方」では、地図記号・索引・方位・縮尺・地形表現・土地利用といった基本的な地図の読み方が示されている。</p> <p>○地球儀の活用について実際に活用している場面の写真を使い説明している。世界の主な大陸と海洋・主な国の名称と位置・我が国の位置と領土の提示などにおいて、読図のポイントが示されている。</p> <p><b>〈思考力・判断力、表現力等を育成する工夫〉</b></p> <p>○巻末の「日本の自然災害」で過去に起こった災害や、災害に備える国や地域の取り組みを載せ、社会的事象について考え、判断することができるようにしている。</p> <p><b>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</b></p> <p>○「地図帳の使い方」や「世界全図と地球儀」についてのページでは、児童自らが学び地図や地球儀を活用できるようになっている。各図の着眼点や課題、ヒント等をキャラクターが台詞で示し、児童が自ら気付き考えられるようにしている。</p> <p>○統計資料、索引が充実し見やすく配置されている。索引にはチェック欄やマイインデックスが設けられ、過去に調べたことを確認できるようになっている。</p> <p><b>〈地図・資料の特徴〉</b></p> <p>○基本図は、国土地理院発行の100万分の1の地形図をはじめ、最新の情報を収集して掲載し、資料図に提示した統計図についても最新のデータを用いている。また、A4判の装丁のため、地方別の地図が広域になっている。</p> <p>○地域の主な農林水産物、伝統工業や歴史、文化・自然遺産については地図中にイラストで示している。</p>
<p>資 料</p>	<p>○地図帳の使い方・読み取り方・活用の仕方に関する資料を載せ、主体的な学習を促す工夫がされている。</p> <p>○索引は、地名の前に地名の種類を表す記号が示され、発達の段階に応じた指導ができるよう赤、黒の2色で色分けして示されている。</p> <p>○統計資料は、日本の各都道府県と世界の国ごとに示され地方、地域別に色分けされている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○陸地の高さは5～10段階、海の深さは3～7段階に色分けされ、大都市周辺の地図では土地利用の様子が8色で示されている。</p> <p>○人物キャラクターの吹き出しにより、課題やヒントが与えられている。</p> <p>○日本および世界の地域地図では、その地図が全体の中のどの辺りを示しているのかが表されている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○都道府県の区分や地図帳の使い方が巻頭にあり、発達段階に応じた調べ方の指導ができるようになっている。</p> <p>○A4判であることを生かすために、地図の周囲に配置するイラストや主題図を厳選し、表示している。</p> <p>○後半の資料ページでは自然環境や産業、歴史、世界との結びつき、各種統計、災害と防災に関するコーナーをまとめて設けてある。</p> <p>○基本図や地域地図のページには社会科の学習に関連する資料を配置し、多面的・多角的な見方ができるようにしている。</p>

社会科（地図）調査資料 1 - 2

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;"><b>楽しく学ぶ 小学生の地図</b></p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">帝国書院</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標とのかかわり</p>	<p>○学習指導要領の目標や内容を踏まえ、適切な資料に基づいて効果的に提示されている。領土・領空・領海の内容について解説があり、写真を併載し、日本の領域が理解できるページが設けられている。日本で起こりうる災害を例示し、そこから身の回りの防災と自らの行動について考えられるような構成となっている。</p> <p>○方位、距離と縮尺、等高線、地図記号などの基本的な地図指導の内容、地球儀の活用の仕方が押さえられている。また、日本と世界の地図においては、各学年の発達段階に応じて、関連する資料などとともに、効果的に配列されている。総合的な学習の時間や他の教科にも活用できるような構成となっている。</p>	
<p>特 色</p>	<p><b>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫〉</b></p> <p>○「地図帳の使い方」では、地図記号・索引・方位・縮尺・地形表現・土地利用といった基本的な地図の読み方が示されている。</p> <p>○巻頭の「日本の都道府県」では、47都道府県の特徴、名称と位置について作業的な学習ができるようになっている。地球儀の活用について、実際に活用している場面の写真を使い説明している。</p> <p><b>〈思考力・判断力、表現力等を育成する工夫〉</b></p> <p>○巻末の「地震・火山の災害と防災」では、過去に起こった災害や災害に備える取り組みを載せるとともに、防災マップづくりの手順を示している。</p> <p><b>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</b></p> <p>○統計を多数取り上げることで様々な学習と関連づけて学習できるようにしている。キャラクターどうしが互いに教え合いながら資料の読み取りや索引を活用する場面を掲載している。</p> <p>○各学年の社会科で学ぶ地域や都市、世界遺産については主題図や写真を掲載し児童が自ら調べ学習で活用できる構成となっている。</p> <p><b>〈地図・資料の特徴〉</b></p> <p>○基本図は、国土地理院発行の100万分の1の地形図をはじめ、最新の情報を収集して掲載し、資料図に提示した統計図も最新のデータを用いている。自然エネルギーも使用した大規模な発電所がわかる記号が設けられている。</p> <p>○地域地図のページには、特色ある地域の鳥瞰図や絵地図、写真等を合わせて掲載している。</p>	<p><b>資 料</b></p> <p>○地図の成り立ちや使い方、読み取り方等を示し、地図帳導入期の指導に配慮した構成の工夫がされている。</p> <p>○索引は、地名の前に地名の種類を表す記号が示され、赤・青・黒の3色分けして示されている。</p> <p>○統計資料は、日本の都道府県と世界の国ごとに示され、地方・地域別に色分けされている。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○山地は立体的に描写し、土地利用の様子を4～5種類の色で表現されている。また、陸の高さ、海の深さは1～7段階で色分けされている。</p> <p>○人物のキャラクターの吹き出しにより、課題やヒントが与えられている。</p> <p>○日本および世界の地域地図では、その地図が全体の中のどの辺りを示しているのかが表されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○都道府県の区分や地図帳の約束事、地図帳の使い方が巻頭にあり、発達段階に応じた調べ方の指導ができるようになっている。</p> <p>○後半の資料ページでは自然環境や産業、歴史、世界との結びつき、各種統計、災害と防災に関するコーナーをまとめて設けてある。</p> <p>○基本図や地域地図のページには社会科の学習に関連する写真やイラスト、鳥瞰図、養護の説明などの資料を配置し、多面的・多角的な見方ができるようにしている。</p> <p>○全ページにインデックスがある。</p>	